

幹事会・運営委員会報告

第Ⅰ期幹事会(第10回)

庶務幹事 前田 裕宣、坂井 信彦

日 時：平成9年3月22日(土) 午後1時～2時

場 所：航空会館9階 901号室

出席者：菊田、坂井、下村、坂田、塩谷、菅、松井、圓山、難波、渡辺、村田、
前田、佐久間(事務局)。

オブザーバ：大野(共同チーム)、鈴木、牧田(財団)

議事内容

平成8年度第4回幹事会は3月22日に開催され、各幹事から現状の報告等がなされた。
内容は引き続いて開催された新旧合同運営委員会と同一なので、詳細は「新旧合同運営委員会」報告を参照していただく。ここにはその項目のみを記録する。

1. 会長報告

2. 各幹事報告

庶務幹事：坂井

- ・会員数の報告
- ・運営委員選挙結果について

行事幹事：坂田

- ・来年度合同シンポジウムについて

編集幹事：圓山

- ・「光彩」の発行について
- ・「光彩」と「SPRING-8利用者情報」の整理統合について

利用幹事：下村・村田

- ・「コントロールシステム等についての説明会」についての報告
- ・報告書について

運営幹事：菅

- ・共同利用ビームラインの課題について
- ・共同利用時の出張形態について
- ・銀行振り込みの照会について

3. 運営委員会開催内容について

4. その他

- ・名簿の改訂について
- ・各種委員会委員（内定者）の紹介

新旧合同運営委員会

日 時：平成9年3月22日（土） 午後2時～5時

場 所：航空会館9階 901号室

出席者：菊田、下村、菅、村田、坂井、坂田、松井、圓山、難波、塩谷、渡辺、前田、辻、三木、木原、太田、佐藤、川村*、佐々木*、水木*、佐久間（事務局）

（*印は新運営委員）

オブザーバ：大野（共同チーム）、植木（共同チーム・財団）、鈴木、牧田（財団）

議事内容

佐藤委員を議長に新旧合同の運営委員会を開催した。

1. 会長報告

利用フェイズでのSPring-8利用者懇談会の活動について提案されているが（総会報告参照）、その後JASRIとの話し合いの結果について報告があった。またその中で提案されている「主要な委員会への候補者の推薦」に関連して、諮問委員会委員として2名の内定者の報告があった。

2. 各幹事報告

○庶務：坂井幹事

- ・会員数の報告

現在の会員数は1,077名になった。

- ・運営委員選挙結果について

運営委員選挙結果について報告があり、新たに決まった10名の氏名と所属の報告があった。

○行事：坂田幹事

- ・来年度合同シンポジウムについて

来年度の日本放射光学会合同シンポジウムについて、その進捗状況の説明があ

り、期日（平成10年1月9日（金）～12日（月））、場所（姫工大[理]・先端科学技術支援センター）を内定している。

○編集：圓山幹事

・「光彩」の発行について

「光彩」13号の3月末の発行に向けて準備を進めている。

・広報誌「光彩」を「SPRING-8利用者情報」へマージする件は、JASRIの中にできた図書委員会等で現在検討中である。

○利用：下村・村田両幹事

・「コントロールシステム等についての説明会」の報告

3月17日（月）に、先端科学技術支援センターで、「コントロールシステム等についての説明会」が開催され、70余名の参加があった。

・Annual Reportについて

Spring-8 Annual Reportの原稿が出来上がり、原研・理研両研究所への報告書も作成した。

○運営：菅幹事

・共用ビームラインの課題について

今、建設ワーキンググループがそれぞれのビームライン建設に協力しているが、それと併行して10月からの利用実験のための利用課題選定の作業が進んでいる。課題選定結果については建設後の立ち上げ調整・性能向上作業とも関係があるのでできるだけ速やかに関係する建設ワーキンググループにも連絡してほしい旨の要望があった。PRCの作業が終わる4月には応募者に連絡するとのことである。

・共同利用時の出張形態について

採択された課題での大学院生の出張について、その扱いを明確にして欲しい旨の要望があった。この件については外国人の旅費についての問い合わせと併せて、共同チーム・JASRIで、ただいま検討中であるとの回答があった。

・試料準備室等の充実のための要望に対しては

JASRIの技術支援方策検討委員会でアンケート調査を行い、準備室の有効利用とその充実を図るとのことであった。

・銀行振り込みの照会について

共同チーム、JASRI等からの旅費等の振り込み通知を要望する。

3. 引き継ぎ事項

会 長：○利用課題応募件数190件のうち代表者の11%が非会員であるので、申請が採択された段階で、この人達にもSpring-8利用者談会への入会の勧誘をする。

庶務幹事：○会員名簿の改訂

編集幹事：○広報誌「光彩」を「SPRING-8利用者情報」のマージする件は、JASRIからの返事を待って対応する。

4. 新会員承認：坂井庶務幹事

- ・ 35名の新入会員の名簿が閲覧され全員加入が承認された。

5. ビームライン建設と共同利用の体制について：植木氏（共同チーム・JASRI）

- ・ ビームライン建設については科技庁の放射線安全に関わる使用前検査が行われ、使用許可が出た。蓄積リングも使用許可が出ているので、蓄積リングの試験調整運転を行っている。ビームラインに関しては、偏向電磁石のビームラインの代表として汎用結晶解析、アンジュレーターの代表としてR&Dのビームラインの2本の使用許可を得ようとしている。これを使って試験を行い5月～6月に使用時検査を受ける。引き続き7本のビームライン(XAFS・高温構造物性・核共鳴散乱・高圧構造物性・生体分析・生体高分子結晶構造解析・理研のビームライン)の使用許可申請を行う。原研のRIビームライン及び高エネルギー非弾性散乱のビームラインは独立した許可を受けなければならない。軟X線のビームラインも別途許可を受けなければならないと考えている。現在、日中は実験ホール立入禁止でビームライン建設協力者その他外部の人を含め見学等もできない。5月～6月の使用時検査後でないと立ち入れないであろう。
- ・ JASRIの中に「基本問題懇談会」があり、小田放射光研究所所長をヘッドに「放射光研究所」の構造・体制・形態の議論を重ねている。現在、共同利用に関わる部分は利用促進部門が対応するものと考えており、また共同利用の事務に関わる部分は利用業務部が対応することになっている。

6. 次期会長予定者の選出

次期運営委員の中から互選により菊田委員を満場一致で選出した。なお任期は平成9年4月1日より平成11年3月31日の2年間である。

7. 平成9年度運営委員会議長の選出

幹事の人事も含め会長に一任する。

8. その他

第Ⅱ期幹事会(第1回)

庶務幹事 鳥海 幸四郎、佐々木 聡

日 時： 平成9年6月6日(金) 午前11時 ～ 午後1時30分

場 所： 東京弥生会館 2階(第1控室)

出席者： 菊田、坂田、水木、村田、塩谷、菅、鳥海、佐々木、
佐久間(事務局)

オブザーバー： 植木、下村(共同チーム)、鈴木、牧田(JASRI)

議題及び報告事項：

1. 本年度の活動方針

(1) 会長

平成9年度には、以下の活動を実施する。

- ・ JASRIからの受託業務を実施する。
- ・ SPring-8利用計画調査委員会を設置し、ビームラインの高度化などに寄与する。
- ・ 共同利用の円滑化および効果的な研究遂行のために、利用者の立場から共同チームへ必要な要請を行う。特に、利用が始まるサブグループからの要望に配慮する。
- ・ 共用ビームラインの各フェーズに対応した建設や計画立案に協力する。特に今年度は、建設から利用へ移行する大切な時期であり、最大限の努力でいい形に持っていきたい。
- ・ 30m長直線部利用に関する国際ワークショップを共催する。
- ・ 放射光科学合同シンポジウムを共催し、SPring-8利用者懇談会総会を開催する。
- ・ 広報誌「光彩」を発行する。
- ・ 会員名簿を発刊する。
- ・ その他。

(2) 各幹事

庶務幹事

- ・ 名簿作成をおこなうため、現在、会員に変更届けをお願いしている。平成10年2月に郵便番号が変更されるので、年度末に新郵便番号をつけて名簿を発刊する。
- ・ 運営委員選挙の日程を少し早め、12月に新委員が選ばれるようにする。

会計幹事

- ・ 今年度の予定会計について会長から報告が行われた。
- ・ 会計報告は次回の幹事会で行う。
- ・ サブグループの活動が適時に行えるよう支援する。

行事幹事

- ・ 平成9年度放射光科学合同シンポジウムが、平成10年1月9日から11日まで、姫路工大・CASTで開催される。初日午後、SPring-8利用者懇談会総会を開催する。

- ・今年度は、別途のシンポジウムは開催しない。

編集幹事

- ・光彩14号を6月に、15号を9月に発行する。16号はJASRIの情報誌平成10年1月号に合併することを検討してもらう。

利用幹事

- ・ビームライン建設にあたっているサブグループに対して、現時点での共同チーム・JASRIへの建設期における要望をアンケート調査した。本幹事会議題として別に議論する。

運営幹事

- ・ビームライン建設協力に関する5つの問題点を幹事が指摘し、各サブグループからの意見を集約し、SPRING-8利用系の植木氏を交え、本幹事会で議論を行った。
- ・運営・利用幹事と植木氏で本日の議論をまとめ、建設フェーズにあるサブグループ責任者にメール等で説明することとした。

2. 共同利用ビームライン建設に関わる要望について

- ・サブグループ会合および建設に関する要望事項が、村田利用幹事から説明された。

要望事項： (1) 実験ホールで建設にあたる人数について
(2) 放射線従事者登録ルールの確立について
(3) 予算執行について
(4) ユーティリティ利用や控室について
(5) アメニティ関連事項
(6) 出張・広報について

- ・個々の要望をアンケート原文で紹介し、共同チーム・JASRIと意見交換を行った。解決した問題や交渉中の問題も多いので、少なくとも建設過渡期には、担当者等の窓口に直接アクセスすることが大切であろう。
- ・今後も調査を随時行い、建設期に現れる問題に対処する。

3. SPRING-8の現状

- ・共同チームより、3月25日には8GeVの電子ビーム蓄積に成功し、翌26日にはビームラインで放射光発生の確認を行った旨の報告があった。
- ・ビームライン建設の現状が報告された。更に、7月11日までの予定が運転計画工程表を基に説明された。
- ・本年度の利用課題への実施予定、並びに、来年度の募集予定が報告された。

4. その他